

2022年11月2日

## 情報公開文書

「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」へご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」にご提供頂いた情報を、国立遺伝学研究所との共同研究へ提供することを計画しております。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご自身が提供された情報を提供してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、情報の提供をいたしません。

### 1. 提供先の研究課題名

腸内マイクロバイオームの機能的メタゲノム解析

### 2. 提供先の研究責任者

國澤 純：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

ワクチン・アジュバント研究センター・センター長

／ワクチンマテリアルプロジェクト・プロジェクトリーダー

### 3. 提供先の研究目的

医薬基盤・健康・栄養研究所では、これまでに日本各地に研究拠点をづくり、腸内環境や生活習慣と健康に関する調査研究を実施し、日本人の腸内細菌や生活習慣などに関する情報を統合したデータベースを構築しております（参考情報1）。これまでに本データベースを活用し、肥満や糖尿病と関連する腸内細菌を見出し、その作用メカニズムを解明するなど腸内環境を基軸とした健康科学研究を推進しています（参考情報2）。今回、このような腸内細菌研究をさらに発展させるため、国立遺伝学研究所と共同研究を行い、医薬基盤・健康・栄養研究所の有する日本人データベースと国立遺伝学研究所の最先端のメタゲノム解析技術基盤を融合させることで、日本人の腸内細菌叢を包括的に理解し、健康増進や疾患予防・改善に資する学術的知見の創出を目指した研究を遂行します。

#### 参考情報1：

腸内細菌や生活習慣に関するデータベース（NIBIOHN JMD）

ホームページ URL：<https://microbiome.nibiohn.go.jp/>

#### 参考情報2：

プレスリリース「日本人の腸内細菌の解析から 肥満・糖尿病を改善する可能性がある有用な腸内細菌

を発見し、作用メカニズムを解明」

ホームページ URL : <https://www.nibiohn.go.jp/information/nibio/2022/08/008069.html>

#### 4. 共同研究の目的

国立遺伝学研究所では、微生物群集ダイナミクスを捉える研究アプローチやメタゲノム解析など腸内細菌叢を包括的に理解するための卓越した解析技術と研究基盤を有しています。一方で、医薬基盤・健康・栄養研究所では「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」で収集している日本人の腸内細菌に関する膨大な情報を持っていることから、2つの研究機関がお互いの長所を活かして協力することで、腸内細菌研究を飛躍的に進展させ、世界的にも先駆的な研究を遂行し、健康社会に貢献したいと考えております。

#### 5. 提供される情報と個人情報の扱い

「腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化および統合解析」で収集している情報を対象とします。例えば、年齢や性別などの基本情報、身長や体重などの身体情報や健康診断情報、アンケートなどによる食事や病歴などの情報、身体活動に関する情報、血液や便などの試料を分析して得られたデータなどを含みます。

その際、提供する情報は匿名化して誰のものか分からなくして提供します。また、氏名、住所、連絡先などの個人情報は提供しません。

#### 6. お問い合わせ先

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

ワクチン・アジュバント研究センター ワクチンマテリアルプロジェクト

國澤 純

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話 072-641-9871